

平成28年度事業報告

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

1. 啓発広報事業

- (1) 消防設備等の適正な設置及び維持管理についての啓蒙普及
新聞広告 春・秋の全国火災予防運動、防災の日等 新聞3社
危険物保安協会会報広告 東部2回 中部1回
- (2) 火災予防に関する啓発
防災フェスタ2016 9月10日 鳥取市 協力:鳥取報知機(株)
消火競技大会(東部) 10月13日 協力:株吉谷機械製作所
啓発用としてポケットティッシュ、防災用ウェットティッシュを作成・配布
- (3) ホームページ等による情報発信
随時更新

2. 講習事業

- (1) 消防設備士講習
鳥取県立倉吉体育文化会館 申請者数289名 修了者数283名

区分	講習日	申請者数	修了者数
消火設備	10月3日	80名	77名
警報設備	10月4日	134名	132名
避難設備・消火器	10月12日	75名	74名

3. 出版物頒布事業

- (1) 出版物の斡旋
安全センター発行の実務図書・試験準備テキスト、広島県発行の実務図書等を斡旋
- (2) 防火・防災セイフティマーク等の斡旋
防火・防災優良認定証0個、防火優良認定証11個(東部5、中部3、西部3)、防火基準点検済証3個文字プレート1個を斡旋

4. 点検報告制度の推進事業

- (1) 消防用設備等の設置及び維持管理に関する調査研究並びに指導
 - ア 会員研修 6月10～11日 出席者13名
大阪国際消防防災展とニッタン電子伊丹工場視察
 - イ 点検実務者研修
「労働災害の現状と対策」鳥取労働局健康安全課産業安全専門官 片山竜次氏
東部会場 7月12日 とりぎん文化会館 出席者45名
西部会場 7月20日 米子コンベンションセンター 出席者34名
 - ウ 消防関係機関との協議会の開催
29年1月20日 米子ワシントンホテルプラザ 出席者24名
- (2) 消防用設備等の保守契約に関する指導、斡旋
 - ア 月刊フェスク、刊行物、資料等を配布した。
 - イ 消防用設備等点検済表示制度の推進
点検済票の交付29事業所[県内16社 島根県4社 岡山県3社 広島県5社 山口県1社]

	発行枚数	昨年度	昨年比
消火器用	140,600	156,200	-15,600
設備用	68,700	79,300	-10,600
合計	209,300	235,500	-26,200

ウ バルブ類点検済シールの頒布

移動式粉末消火設備バルブ類点検済シールを会員へ頒布 1, 360枚

エ 消防用設備点検器具等の貸出

連結送水管耐圧試験機の貸出 12回

(3) 中国・四国消防設備協会等連絡協議会(10月13日高知県)及び中国地区消防設備協会連絡協議会事務担当者会議(12月5日広島県)・事務局長会議(12月8日山口県)に出席し、意見や情報を交換。

(4) 要望活動

7月22日 鳥取県東部生活環境事務所

8月8日 航空自衛隊美保基地

5. 表彰

(1) 協会長表彰

個人 中尾章史 (株)米子消防器具商会

事業所 細田電気保安管理事務所

(2) 理事長表彰

第1号表彰 中尾章史 (株)米子消防器具商会

第4号表彰 鳥取報知機株

6. 会議等

(1) 総会 6月3日

(2) 理事会 6回 4月22日、6月3日、7月20日、11月25日、29年1月20日、3月23日

(3) 監査会 4月11日(平成27年度事業及び決算について)

(4) 研修・会議等

会長 3回 10月13日、11月2日、12月8日

副会長 1回 10月13日

事務局長 4回 10月13日、11月2日、12月8日、29年1月26~27日

職員 2回 7月7~8日、12月5日

7. その他

公益目的支出計画の実施完了(平成28年3月31日)の確認書が12月19日に交付されました。
会員名簿を発行した。

個人賛助会員(準会員) 80名 (28年度末現在) ※うち28年度に更新48名・新規入会10名
高校生を対象とした消防設備士試験対策講習会を6月に開催した。

附属明細書について

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。